



2025 年 5 月 22 日

各 位

会 社 名 旭 情 報 サ ー ビ ス 株 式 会 社
代表者名 代表取締役社長 濱 田 広 徳
(コード番号 9799 東証スタンダード)
問合せ先 取締役常務執行役員 宮 下 勇 人
管 理 本 部 長
(TEL : 03 - 5224 - 8281)

機関投資家・アナリスト向け決算説明会資料の公開に関するお知らせ

当社は、機関投資家・アナリスト様に向けて、2025年3月期 決算説明会を開催し、
代表取締役社長濱田 広徳より、以下の内容をご説明しましたので、資料の公開をします。

記

1. 日時

2025 年 5 月 22 日 (木) 11:00～12:00

2. アジェンダ

- I 会社概要
- II 2025 年 3 月期 決算
- III 中期経営計画 (2026 年 3 月期～2028 年 3 月期)
- IV 2026 年度 3 月期の見通し

<添付資料>

2025 年 3 月期 決算説明会資料

以 上

2025年3月期決算 決算説明会資料

2025年5月22日

 **旭情報サービス株式会社**

東京証券取引所 | スタンダード市場
証券コード | 9799



Agenda

- I**▶ 会社概要
- II**▶ 2025年3月期決算
- III**▶ 中期経営計画
(2026年3月期～2028年3月期)
- IV**▶ 2026年3月期の見通し
- V**▶ ご参考:データ資料

Agenda

- I**▶ 会社概要
- II**▶ 2025年3月期決算
- III**▶ 中期経営計画
(2026年3月期～2028年3月期)
- IV**▶ 2026年3月期の見通し
- V**▶ ご参考:データ資料



ASAHI INTELLIGENCE SERVICE

AIS

ICT社会の発展を価値ある「サービス」と「人」で支える

旭情報サービス株式会社

企業理念

旭情報サービスは
生き生きとした人づくりに基づき
創意工夫とたゆまぬサービス改善により
情報社会の健全な発展に貢献します。



公式マスコットキャラクター
「ふくーたん博士」

概要

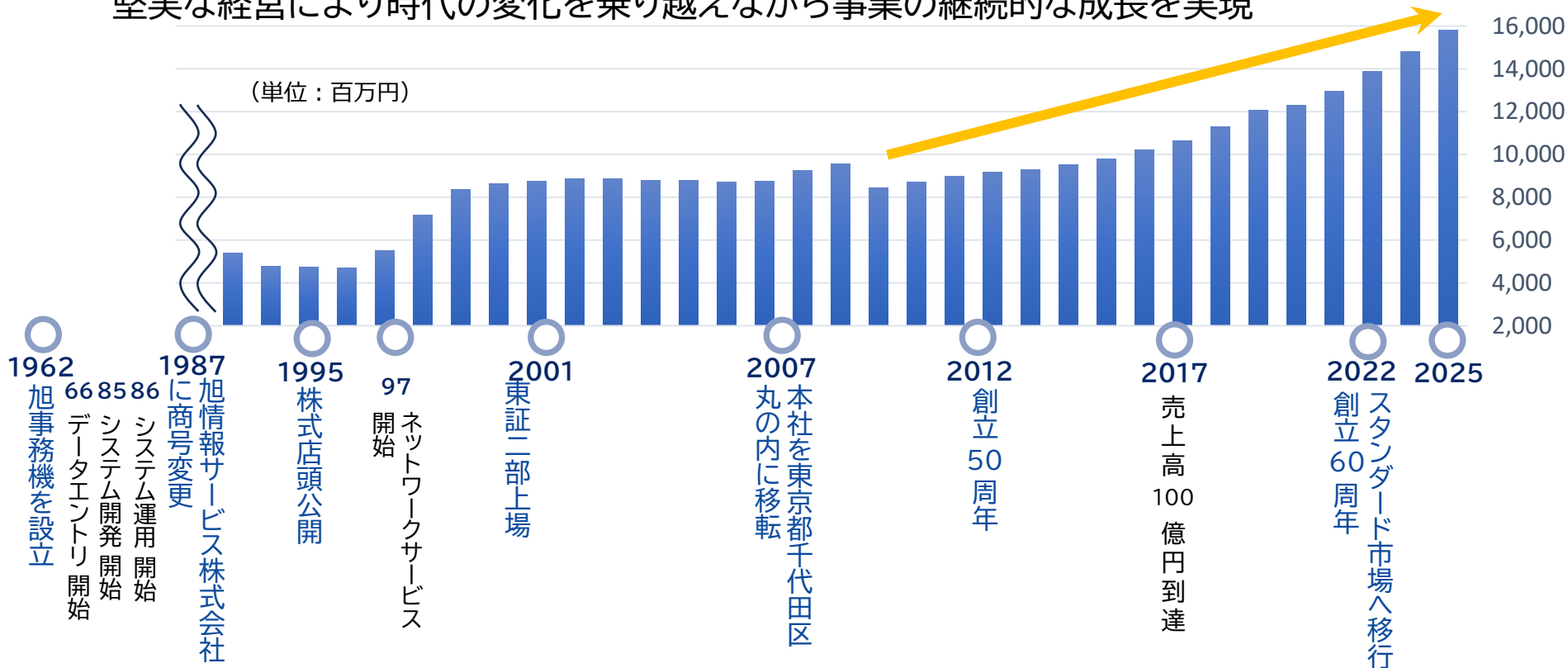
設立	1962年8月7日
資本金	7億3,336万円
社員数	1,863名(2025年3月末現在)
本社	東京都千代田区丸の内 1丁目7番12号 サピアタワー11階
オフィス	東京・横浜・名古屋・大阪
事業部門	・ネットワークサービス部門 ・システム開発部門 ・システム運用部門



主な沿革と売上高の推移

堅実な経営により時代の変化を乗り越えながら事業の継続的な成長を実現

(単位：百万円)



バブル崩壊

ITバブル崩壊

リーマンショック

コロナショック

分散型システム
ネットワーク化

インターネット
利用の拡大

クラウドコンピューティングと
IoT、AIの時代到来

Agenda

- I**▶ 会社概要
- II**▶ 2025年3月期決算
- III**▶ 中期経営計画
(2026年3月期～2028年3月期)
- IV**▶ 2026年3月期の見通し
- V**▶ ご参考: データ資料



15期連続の増収増益で過去最高を更新

売上高

DX推進や従来型システムの刷新に関連する需要を軸に売上が伸長
主に自動車関連や移動体通信などの分野における受注拡大

営業利益

採用強化や技術者への教育投資及び賃金改善
案件獲得や契約料金の改善による収益力の向上

	前 期 2024年3月期	当 期 2025年3月期	増減額	増減比
売上高(百万円)	14,786	 15,820	+1,034	+7.0%
営業利益(百万円)	1,477	 1,585	+157	+11.1%
営業利益率	9.7%	10.0%	—	+0.3pt
経常利益(百万円)	1,456	 1,611	+154	+10.6%
経常利益率	9.9%	10.2%	—	+0.3pt
当期純利益(百万円)	1,071	 1,189	+118	+11.0%

事業部門別売上高(ネットワークサービス)



ネットワークサービス



多様なITインフラニーズを幅広くサポート

構築・運用設計



メーカーや機種にこだわらず情報システムの構築や運用・保守をサポート

セキュリティ



セキュリティ環境の導入、情報セキュリティ統制やセキュリティインシデント対応まで幅広くサポート

システム運用管理



運用プロセス、サービスレベル管理を行い、運用改善をサポート

監視オペレーション

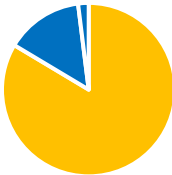


サーバー、ネットワーク、アプリケーション等の監視およびオペレーション業務

サービスデスク



コールセンター業務、情報インフラに関する総合窓口としてのユーザ・サポート業務

売上高 (2025年3月期)	増減比	売上構成比	売上高増加の要因
13,221百万円	+7.4%	 83.6%	↑ DX推進に関連する案件や従来型システムの刷新の需要が活況 ↑ 請負・委託業務を中心に取引が拡大



事業部門別売上高(システム開発)

システム開発



業種・業務分野にとらわれず、汎用系からオープンネット系の企画、設計、開発に至るまで幅広く柔軟にサポート

開発範囲

上流から下流まで幅広く対応



開発種類



売上高 (2025年3月期)	増減比	売上構成比	売上高増加の要因
2,287百万円	+5.6%	14.5% 	顧客のDX推進に関わる案件獲得 業務系アプリケーション等の案件獲得

事業部門別売上高(システム運用)



システム運用



ホストコンピュータの維持運用を365日24時間体制で管理

トラブル対応



システムを障害から復旧させ、
安定稼働の状態を維持します

メンテナンス



システムの稼働状況を日々監視し、
障害が発生するのを未然に防ぐ

運用構築支援

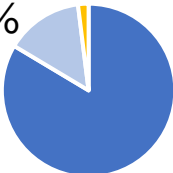


インフラ構築から運用ルールの
策定までを当社が一貫して支援

運用改善



サーバの負荷軽減、
システムのスリム化などを行う

売上高 (2025年3月期)	増減比	売上構成比	売上高減少の要因
311百万円	+1.4%	2.0% 	 契約料金の改善

取引先企業の業種別売上高



製造業の「自動車・自動車関連」や通信業の「大手通信キャリア」における
主要取引先の案件が増加

2025年3月期

<エンドユーザ業種>

業種別売上構成比上位

単位:億円

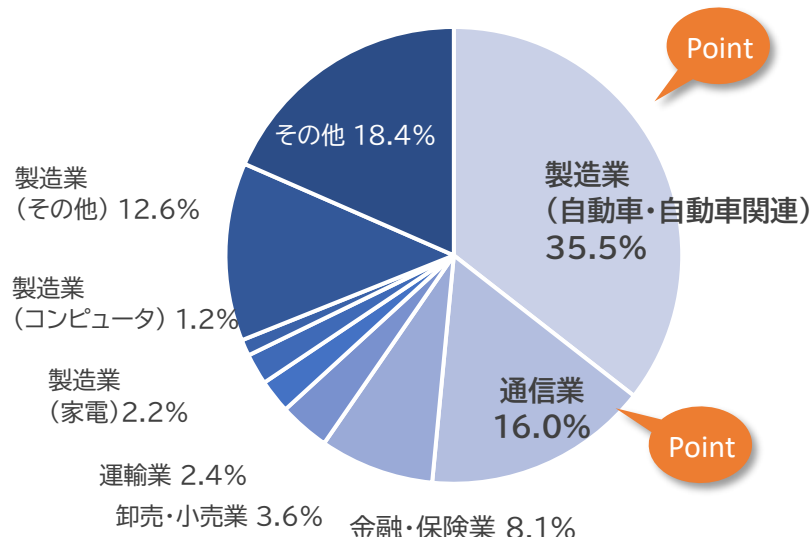
	売上高	前年比	構成比
製造業	81.4	+8.8%	51.5%
自動車・自動車関連	(56.2)	(+11.1%)	(35.5%)
家電	(3.4)	(+4.0%)	(2.2%)
コンピュータ	(1.8)	(△5.7%)	(1.2%)
その他	(19.9)	(+5.3%)	(12.6%)
通信業	25.2	+4.3%	16.0%
金融・保険業	12.8	△8.2%	8.1%
卸売・小売業	5.6	+2.3%	3.6%
運輸業	3.7	+1.1%	2.4%
その他	29.1	+14.4%	18.4%
合計	158.2	+7.0%	100.0%

自動車・
自動車関連

通信



金融・保険



Agenda

- I**▶ 会社概要
- II**▶ 2025年3月期決算
- III**▶ 中期経営計画
(2026年3月期～2028年3月期)
- IV**▶ 2026年3月期の見通し
- V**▶ ご参考:データ資料

前中期経営計画(業績)の振り返り



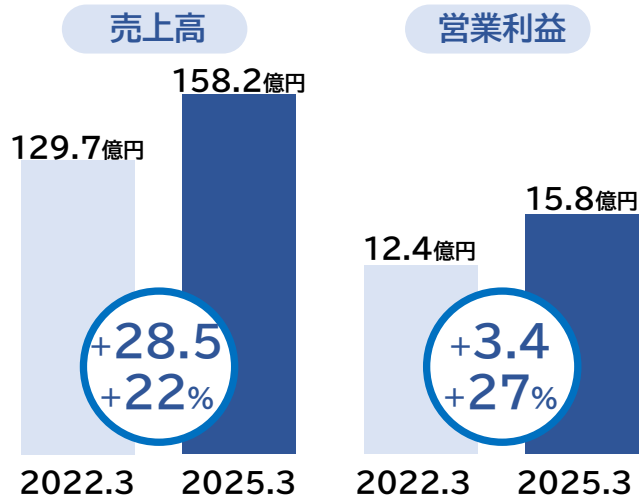
業績目標達成状況

2回の上方修正を行い、売上高および営業利益ともに当初計画より大幅に目標達成

	2022年3月期 実績	2025年3月期 目標	2025年3月期 実績
売上高	12,971百万円	15,550百万円	15,820百万円
営業利益	1,248百万円	1,535百万円	1,585百万円
営業利益率	9.6%	9.9%	10.0%

※当初目標 売上高 14,150百万円 営業利益 1,360百万円
 ※2023年5月 売上高 14,750百万円 営業利益 1,390百万円に上方修正
 ※2024年5月 売上高 15,550百万円 営業利益 1,535百万円に上方修正

成長状況



業績伸長の主な要因

- ・企業のIT投資活発化(DX推進や従来型システム刷新需要の拡大)
- ・顧客ニーズの迅速な把握と提案力強化による案件獲得と契約料金の改善
- ・自動車関連や移動体通信等の分野における受注拡大
- ・技術者確保のための採用強化、技術者への教育投資、賃金改善



前中期経営計画(重点施策)の振り返り



重点施策

事業戦略

- ・強み・得意分野の拡充
- ・請負・委託業務の拡大
- ・DX化の支援強化
- ・新規事業開発

株主利益の維持・向上

- ・安定的な株主還元の継続
- ・IR活動の充実

サステナビリティ経営

- ・社内DXの推進
- ・働きがいのある環境づくり

事業成長とともに企業価値を拡大

強み・得意分野売上高の増加
(2022年3月期比)※1

25.0%増
+1,883百万円

年間配当金の増加※2
(2022年3月期比)

21.50円 ➡ **32.00円(予定)**
+10.50円

ガバナンス強化
(2023年12月・2024年10月実施)

指名・報酬委員会設置
執行役員制度導入

請負・委託業務売上高の増加
(2022年3月期比)

26.9%増
+2,416百万円

投資家層の拡大
(2024年10月)

1株につき2株の株式分割
株主優待の拡充

健康経営の推進
(2025年3月10日認定)



新規プロダクトの取扱数
(2022年3月期比)

0件 ➡ **5件**

IR強化
(2024年5月～開始)

機関投資家向け決算説明会
個人投資家向け会社説明会

※1
自動車業、通信業、金融・保険業の売上高

※2
2022年3月期の期首に株式分割が行われたと
仮定して、1株当たりの配当金を記載



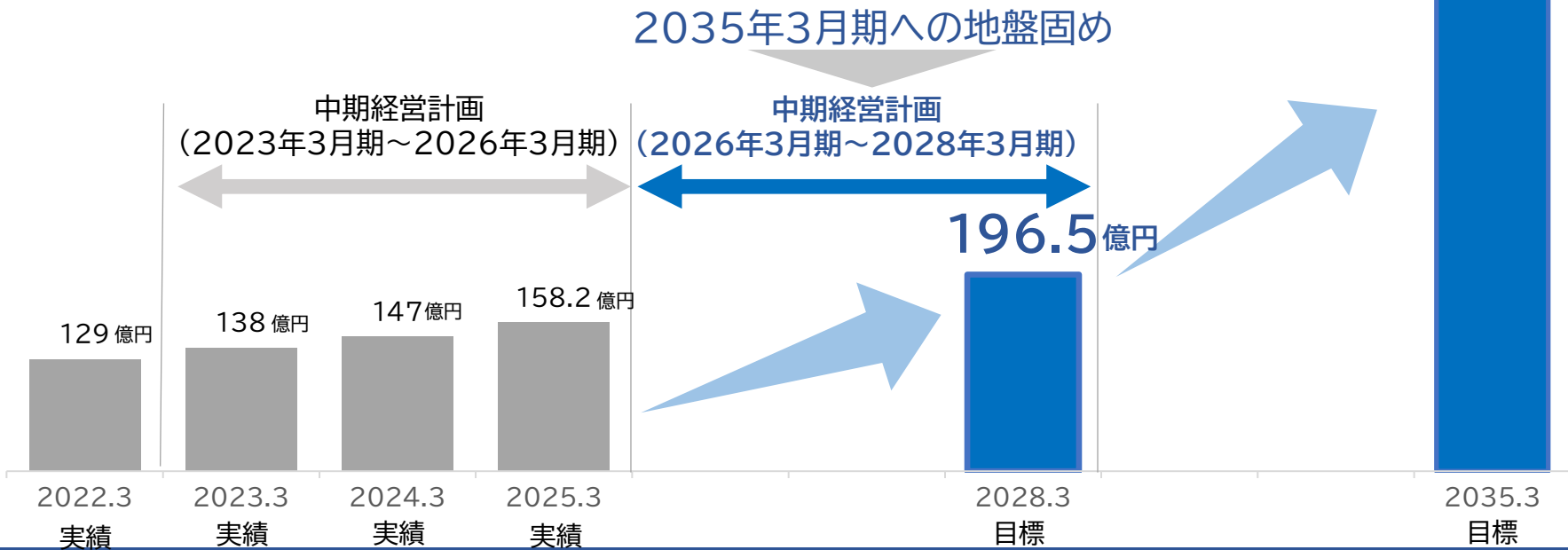
長期経営目標

2035年3月期 売上高500億円を目指す

長期目標を見据えて中期的な課題解決に取り組む

既存事業	事業拡大・収益力の強化
新規事業	既存事業以外の収益基盤の確立
M&Aおよび 資本・業務提携	企業成長の加速

2035年3月期
経営数値目標
売上高
500億円



重点戦略の概要(事業戦略)



変革と共創で未来を創る

顧客の課題解決に貢献し、顧客とともに成長するソリューションパートナーを目指す

事業戦略

事業の構造改革による収益力の強化

- ・エンジニアリングサービスを中心としたDX分野の拡大
- ・請負化の推進およびサービスレベルの向上
- ・収益性が高く拡大が見込める分野への事業リソースの集中
- ・営業提案活動および顧客とのリレーションシップの強化

新たなビジネス分野の開拓

- ・AIソリューションを活用したビジネス展開推進
- ・新規ビジネス創出および自社ソリューション開発

DX分野の拡大

請負化の推進



事業リソースの集中

リレーションシップの強化



顧客の期待を超える付加価値
の高いサービス提供を目指す

新たな事業を模索し、当社の
さらなる成長につなげる

重点戦略の概要(人材戦略・経営基盤の強化)



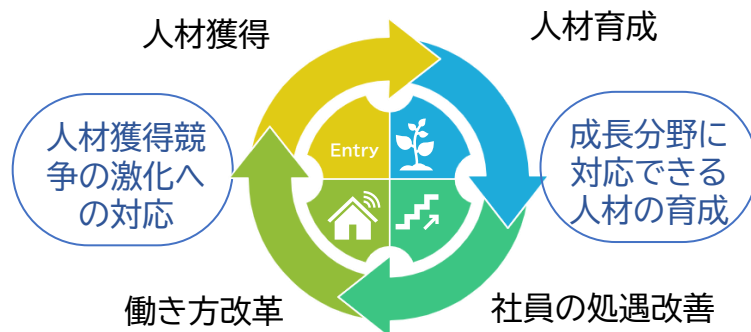
人材戦略

企業基盤を支えるための採用・育成

- ・成長加速に必要な人材獲得(成長領域の高度人材採用)
- ・リスクリング／スキルアップ(事業競争力強化・生産性向上)

従業員エンゲージメントの向上

- ・持続的な処遇改善(ベースアップ/インセンティブプランの導入)
- ・働き方改革の推進(柔軟な働き方など働きやすい環境整備)
- ・人材育成プログラムの充実とキャリアパスの明確化



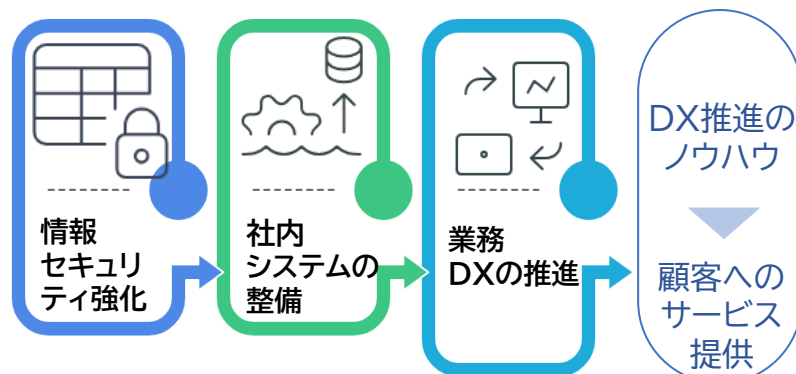
経営基盤の強化

社内DXの推進

- ・ビジネススピード向上による競争優位性の獲得
- ・データ活用による経営効率や顧客満足度の向上

サステナビリティ経営の推進

- ・環境負荷低減策の実施(環境に配慮した商品の利用など)
- ・ダイバーシティ&インクルージョンの推進
- ・健康経営を推進し、従業員の健康維持をサポート
- ・投資家/株主への適切な情報開示
- ・コンプライアンスの徹底、リスクマネジメントの強化



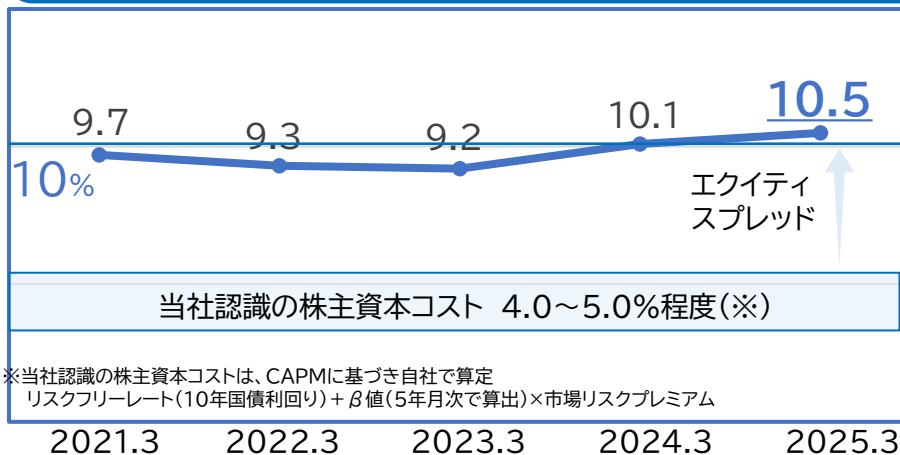
資本コストと株価を意識した経営



ROE・PBRともに、2024年3月期比で向上

中期経営計画を着実に遂行し、資本効率と成長性の強化を通じて、継続的な改善につなげる

ROE(%)

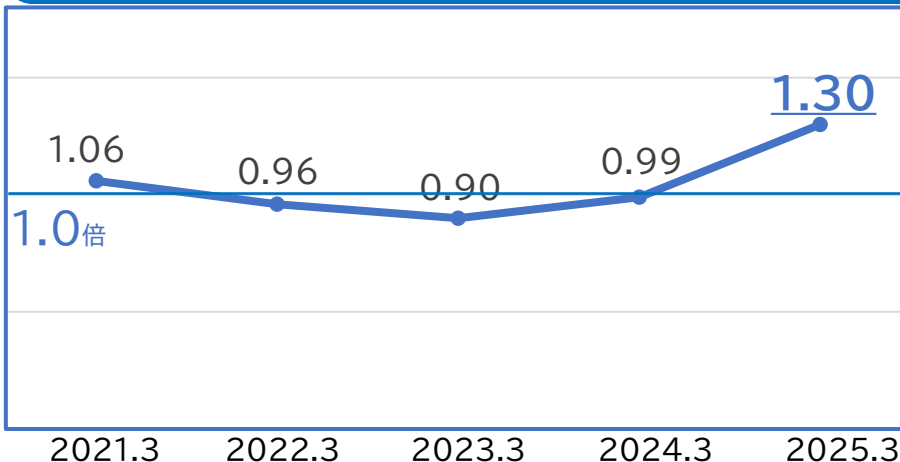


2028年3月期
目標
12.0%
以上

株主資本コストを上回り、目標(10%)達成

おおむね9%～10%台で安定的に推移し
株主資本コストを継続的に上回る水準

PBR(倍)



2028年3月期
目標
1.5倍
以上

1.30倍に上昇し、目標(1.0倍)達成

2023年3月期の0.90倍から徐々に回復し、
2025年3月期には1.30倍へと上昇

資本コストと株価を意識した経営



資本効率の改善ならびに持続的な利益成長を通じて
市場からの評価を一層高め企業価値の向上を目指す

主な取組内容		2028年3月期 目標
収益基盤の強化	・付加価値向上に向けた投資 ▶人材・DX推進への継続的な投資 ▶新たな事業戦略の検討・推進 ▶オフィス環境の改善に向けた設備投資 ・M&Aおよび資本・業務提携を通じた戦略的投資 成長投資 42億円以上	ROE
安定的な 株主還元の継続	・配当性向40%以上の継続 ▶経営基盤の強化と長期的な収益向上を維持しつつ、 安定的かつ継続的に実施	12.0% 以上
IR活動の強化	・積極的に株主との対話を実施 ・機関投資家、個人投資家向けの説明会の実施 ・サステナビリティ情報や非財務情報の充実 ※当社の株主・投資家との対話の方針は、当社ホームページをご確認ください。	PBR 1.5倍 以上

将来のキャッシュ・フロー成長を支える無形資産(人材・DX推進)への資源配分を継続的に実施



2035年度 売上高500億円を目指し、更なる企業価値の向上を図る

(百万円)	2025年3月期 実績	成長率	2028年3月期 目標
売上高	15,820	24.2%	▶ 19,650
営業利益	1,585	24.2%	▶ 1,965
営業利益率	10.0%	—	10.0%
ROE	10.5%	—	12.0%以上
PBR	1.3倍	—	1.5倍以上
配当性向	41.8% (予定)	—	40%以上

※本中期経営計画における業績目標には、将来的なM&Aによる売上高および利益の寄与は織り込んでおりません。

Agenda

- I**▶ 会社概要
- II**▶ 2025年3月期決算
- III**▶ 中期経営計画
(2026年3月期～2028年3月期)
- IV**▶ **2026年3月期の見通し**
- V**▶ ご参考:データ資料

業績予想



売上高	AIやクラウドサービス、セキュリティ対策、RPA等のDX推進をはじめ、従来型のシステム刷新の需要継続による増収を見込む
営業利益	案件の獲得や契約料金の改善による収益の確保を見込む 採用強化や技術者への教育投資及び賃金改善にも積極的に取り組む
当期純利益	賃上げ促進税制による法人税の税額控除は不確定要素が多いため、織り込んでいない

	2025年3月期 実績	2026年3月期 予想	増減額	増減比
売上高(百万円)	15,820	16,950	+1,129	+7.1%
営業利益(百万円)	1,585	1,700	+114	+7.2%
営業利益率	10.0%	10.0%	—	0.0pt
経常利益(百万円)	1,611	1,729	+117	+7.3%
経常利益率	10.2%	10.1%	—	△0.1pt
当期純利益(百万円)	1,189	1,210	+20	+1.7%



基本方針

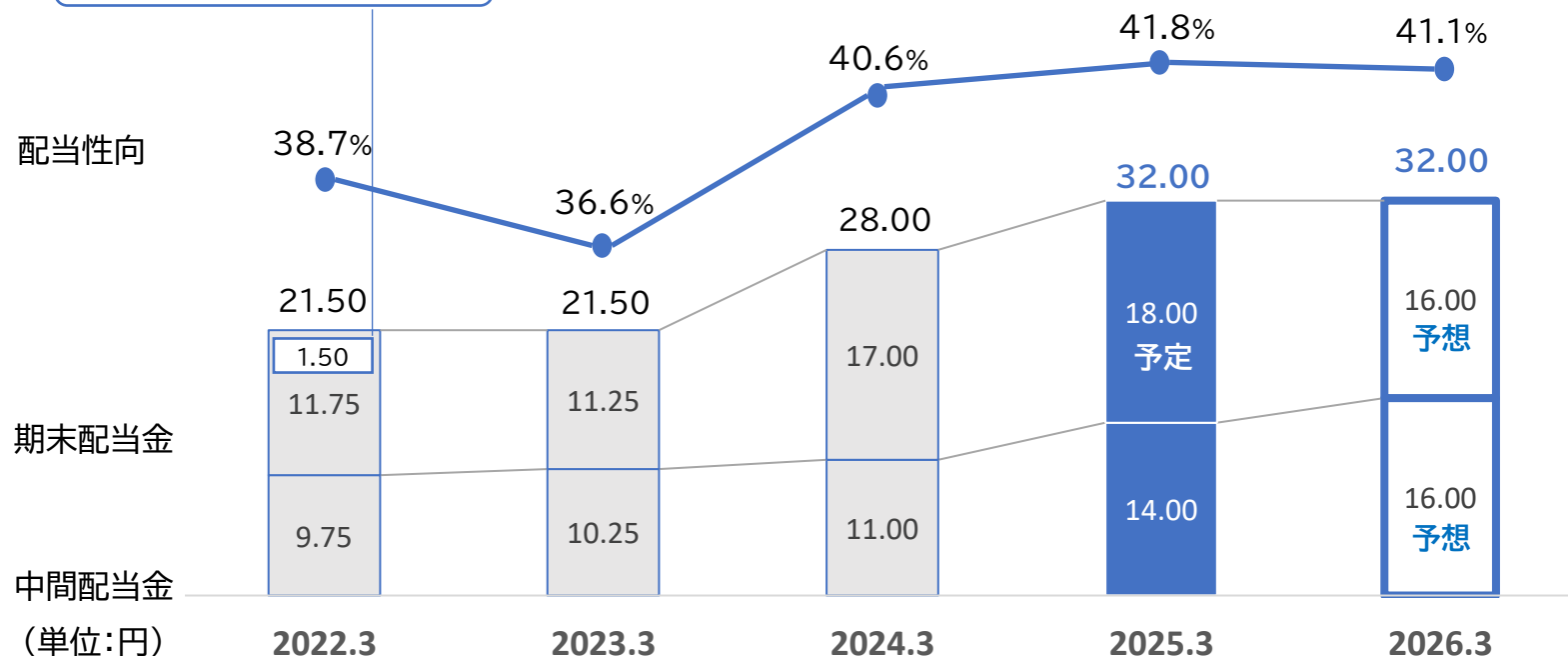
- ・配当性向40%以上を継続し株主還元の充実を目指す
- ・業容・業績の拡大とともに安定的かつ継続的に行う



うち、創立60周年記念配当



株式分割と株主優待制度の拡充



株式分割の目的 : より投資しやすい環境を整え、投資家層の拡大ならびに株主数の増加を図ること
 株式分割の内容 : 2024年10月1日に普通株式1株につき2株に分割

※上記のグラフは、2022年3月期の期首に株式分割が行われたと仮定して、1株当たりの配当金を記載

株主優待制度の拡充: 【新設】3,000 株以上の保有株主様にカタログギフトe-book10,000円相当

Agenda

- I**▶ 会社概要
- II**▶ 2025年3月期決算
- III**▶ 中期経営計画
(2026年3月期～2028年3月期)
- IV**▶ 2026年3月期の見通し
- V**▶ **ご参考:データ資料**

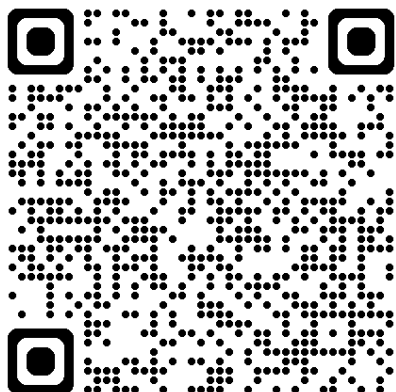
VI アンケートのお願い



本日は、「2025年3月期決算の決算説明会」にご出席いただき、まことにありがとうございました。

今後のIR活動の参考にさせていただきますので、よろしければアンケートにご回答ください。

QRコードからもアンケートへのご回答が可能です。



旭情報サービス株式会社
公式マスコットキャラクター

「ふくーたん博士」

2025年3月期決算 経営実績及び財務状態等



		前事業年度 (2024年3月31日)	当事業年度 (2025年3月31日)
売上高	百万円	14,786	15,820
(前期比)	%	+6.7	+7.0
営業利益	百万円	1,427	1,585
(前期比)	%	+8.8	+11.1
経常利益	百万円	1,456	1,611
(前期比)	%	+8.3	+10.6
当期純利益	百万円	1,071	1,189
(前期比)	%	+17.4	+11.0
1株当たり当期純利益	円 銭	68.91	76.50
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	円 銭	—	—
自己資本当期純利益率	%	10.1	10.5
総資産経常利益率	%	10.9	11.3
売上高営業利益率	%	9.7	10.0
総資産	百万円	13,932	14,645
純資産	百万円	10,966	11,684
自己資本比率	%	78.7	79.8
1株当たり純資産	円 銭	705.49	751.64
営業活動によるキャッシュ・フロー	百万円	1,066	927
投資活動によるキャッシュ・フロー	百万円	372	△527
財務活動によるキャッシュ・フロー	百万円	△395	△480
現金及び現金同等物期末残高	百万円	6,279	6,197

2024年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益や1株当たり純資産を算定しております。

2025年3月期決算 貸借対照表



(単位:百万円)	前事業年度 (2024年3月31日)	当事業年度 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産	10,117	10,435
現金及び預金	6,779	6,697
その他	3,338	3,737
固定資産	3,814	4,210
有形固定資産	57	55
無形固定資産	30	22
投資その他の資産	3,726	4,132
資産合計	13,932	14,645
負債の部		
流動負債	2,838	2,872
短期借入金	210	210
その他	2,628	2,662
固定負債	127	88
負債合計	2,965	2,961
純資産の部		
株主資本	10,854	11,562
評価・換算差額等	111	121
純資産合計	10,966	11,684
負債純資産合計	13,932	14,645



当社はビジョン”ICT社会の発展を価値ある「サービス」と「人」で支える”の実現に向けて、中期経営計画(2026年3月期～2028年3月期)を策定しました。
「変革と共創で未来を創る」をスローガンに、顧客の課題解決への貢献をし、顧客とともに成長するソリューションパートナーを目指します。



中期経営計画

2026年3月期～2028年3月期



https://www.aiskk.co.jp/ir/management_info/mid-term-goal.html

2025年5月19日



旭情報サービス株式会社

東京証券取引所 | スタンダード市場
証券コード | 9799



Copyright ©2025 ASAHI INTELLIGENCE SERVICE CO., LTD. All Rights Reserved.

免責事項

- 本資料は、株主・投資家の皆様に当社の情報を提供し、ご理解いただくことを目的としており、当社株式の購入や売却等を勧誘するものではありません。
投資に関するご決定は、ご自身の責任と判断で行われるようお願いいたします。
- 将来の見通しや予測に関する記述は、資料作成時点で入手可能な情報に基づくものであり、リスクや不確実性を含んでおります。
実際の業績やパフォーマンスは経済情勢、市場動向、法令・規制の改正等、様々な不確定要素に影響を受けることがございます。
これらの要因により、見通しと大きく異なる結果となる可能性があることをあらかじめご了承ください。
- 掲載している情報については細心の注意を払っておりますが、内容について如何なる保証を行うものではありません。